

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
法人本部

令和元年度 事業報告

交楽会本部

今年度は、法人の適正な運営と職員処遇の改善及び人材確保に努めている。4月に森幸園のデイルーム増改築工事の入札を行い12月で竣工している。6月から次年度新卒職員の募集を開始し、二ツ井高校、北鷹高校、大館桂桜高校、秋田看護福祉大学を訪問して法人概要と求人の説明を行った。採用試験には3名が受験し、全員が新年度より当法人に就職している。年度中には、21名（臨時、パート含む）を新たに採用した。職員の処遇改善を図るため、今年度の報酬改正で創設された特定処遇改善加算を取得するとともに、給与規程等を改正整備して改善を進めた。もりの郷の運営については、職員体制や事業を精査し、新年度から、もりよし荘と森幸園で分割運営することとした。

① 評議員会・理事会の開催

理事、監事が任期満了の年度だったが、6月の定時評議員会で全員再任議決している。元年度は評議員会を3回、理事会を6回開催した。開催日時、議案等については別表のとおりである。

② 役員研修及び職員研修等

10月15日(火)～16日(水)「北海道・東北ブロックセミナー」(盛岡市)に役員8名が参加し、社会福祉法人をめぐる情勢や経営について研修した。本部主催の研修会として5月23日(木)事務担当打合せ会(参加者11名)、2月21日(火)人事考課評定者研修会(参加者35名)、3月25日(火)新任職員研修(参加者12名)を実施している。

③ 監事監査及び外部監査の実施

30年度運営状況等について、5月27日(月)本部、29日(水)もりよし荘・森泉荘、30日(木)森幸園・もりの郷の監事監査を実施した。

外部監査は北林会計事務所が8月5日(月)森幸園、8月6日(火)森泉荘、8月21日(水)本部について実施している。

④ 人事異動、採用、退職

異動…元年度は、4月1日付でもりよし荘に1名、森幸園に1名、森泉荘に2名、もりの郷に1名の5名の人事異動、11月1日付でもりの郷に1名の人事異動を実施している。

採用…4月1日付けで新卒者(北鷹高校)2名を採用。また有資格者を年度中に4名採用(看護師3名、管理栄養士1名)している。

退職…年度末での定年退職者が2名。年度中には正職員5名が依願退職している。

⑤ もりの郷分割運営の取組

もりの郷の運営改善のため、各施設の担当で協議を進め、米内沢地区のもりの家(認知症対応型共同生活介護事業所)をもりよし荘の運営に、前田地区のもりの郷(指定共同生活援助事業所及び共生型通所サービス事業所)を森幸園の運営とすべく、各種規程等を改正整備して理事会、評議員会に提案し、2年度より分割運営することとした。

今後の課題

- ・効率的な運営と安定経営～財務規律の強化、地域における公益的な取り組みの検討実施。
- ・人材確保及び人材育成～人材確保に向けた広報活動。職員配置、人件費適正化の検討及び人材育成。

○理事会開催状況

	日 時	出席状況
第1回	4月17日(水) 10:00	理事6名出席、監事2名出席
第2回	6月7日(金) 13:55	理事6名出席、監事2名出席
第3回	6月7日(金) 15:40	理事6名出席、監事2名出席
第4回	6月28日(金) 15:45	理事6名出席、監事2名出席
第5回	12月12日(木) 13:55	理事6名出席、監事2名出席
第6回	3月19日(木) 13:55	理事6名出席、監事2名出席

○評議員会開催状況

	日 時	出席状況
第1回	6月28日(金) 13:55	評議員6名出席、監事2名出席、欠席評議員1名
第2回	12月20日(金) 14:55	評議員6名出席、監事2名出席、欠席評議員1名
第3回	3月27日(金) 14:00	評議員7名出席、監事2名出席

○合同会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	4月23日(火)	第5回	8月27日(火)	第9回	12月26日(木)
第2回	5月24日(金)	第6回	9月24日(火)	第10回	1月28日(火)
第3回	6月24日(月)	第7回	10月30日(水)	第11回	2月25日(火)
第4回	7月23日(火)	第8回	11月29日(金)	第12回	3月24日(火)

○施設長会議

回数	月 日	回数	月 日
第1回	4月23日(火)	第6回	11月29日(金)
第2回	6月24日(月)	第7回	12月26日(木)
第3回	7月23日(火)	第8回	1月28日(火)
第4回	9月24日(火)	第9回	2月18日(火)
第5回	10月30日(水)	第10回	2月19日(水)

○評価作業部会

	月 日	参加人数	講師
人事考課研修(9回)	2月21日(金)	35名	㈱セミナー東北 大竹 辰也 氏

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
介護老人保健施設 もりよし荘

令和元年度 介護老人保健施設もりよし荘事業報告

◎施設運営

前年度の継続目標を含め 7 つの重点目標をかかげ、各部門で施設運営に取り組んだ。6月からもりの家との統合に向けた話し合いを重ね、それぞれの現状や互いに協力できる事など幅広く確認しあった。感染症については大きな蔓延もなく 1 年が経過した。2 月以降、新型コロナウイルスの対応のため、各関係機関からの情報をもとに感染防止に努めた。

管理運営面においては、入所、通所共に利用率は目標を下回り施設運営は厳しさを増している。職員一人一人が施設の現状を把握し、一つ一つの行動や節約の積み重ねで経費削減に努めた。当初計画していた屋上張替え工事をオリンピック開催による資材不足等の影響から中止し、施設全体の LED 工事を 3 月に行った。

◎重点目標取り組み報告

・入所・短期入所

① 各種加算算定への取り組み強化

老健の基本的な報酬区分である在宅復帰・在宅療養支援等指標は「超在宅強化型」「在宅強化型」「加算型」「基本型」「その他」に分けられるが、当施設の報酬区分は「基本型」となっている。最高値を 90 として、当施設の数値は 24 で現状維持が困難な月も見られた。2 月に管理栄養士を採用し、新たに栄養ケアマネジメント加算算定の為、利用者個々の栄養状態を把握するスクリーニングシートをもとに栄養ケア計画書の作成に努めた。

② 利用率の向上

目標利用率 97% に対し、95.9% であった。上半期を 95.8% で折り返し、下半期はさらに入所率の向上に努めたが、12 月以降入院や死亡の影響もあり目標に届かなかった。平成 31 年度入所者 33 名（越冬入所・再入所含む）、退所者 37 名（入院 17 名、死亡 16 名、その他 4 名）だった。医療機関からの入所が増えていることから、医療連携室との連絡を密にスムーズに入所できるように努めた。

③ 関係法令の遵守、質の高いサービスの提供

高齢者虐待、身体拘束、個人情報等の関係法令を遵守しサービス提供に努めた。特に、緊急やむを得ず身体拘束（説明、同意のもと）に至ったケースについては、毎月解除に向けて評価。3 ヶ月ごとに委員会を開催し身体拘束等の適正化の指針を整備した。また全体で身体拘束のアンケートを行いグレーゾーンや虐待の背景と要因について考えた。

④ 各個人のスキルアップ及びモチベーションの向上

職員それぞれ、上司と面談、話しあいにて目標設定し取り組み、頑張りを評価した。特に中間面接では取り組み状況を確認し、目標達成できるよう言葉をかけた。また資格取得のための勤務の調整等バックアップ体制をとった。また外部研修や内部研修にて人材育成に努めたが、内部研修のマナー化もあり来年度に向けて課題を残した。

⑤ 効率的な業務改善への取り組み

利用者の高齢・重度化もあり高機能オムツへの見直しを行い、夜勤者の負担軽減に努めた。また書類関係の量もかなり多いため、各部門、ユニットで委員会綴りや会議録を一本化し、また、パソコンを活用し全職員が情報を共有するよう努めた。

⑥ 接遇マナーの向上

接遇マナーの向上に向け、毎週（月曜日）の全体申し送りにて、話し方や身だしなみ、笑顔を忘れずに対応するよう話している。大きな苦情等もなくだいぶ改善されてきていると思うが、地域の方からの指摘や苦情解決担当者会議からの報告からも他事業所としての苦情と考えず、もりよし荘全職員の共通の目標として対応していく必要を感じている。

⑦ 働き甲斐のある職場作り

互いの意見を尊重し、一つのことをやりとげた達成感や基本理念を大切にしたい。常に利用者の立場にたった目標やサービスに努めたことで、地域や家族から感謝の言葉を頂いた。コミュニケーションを深め、風通しの良い職場づくり、職員の仕事へのモチベーションの向上にもなっている。

・通所リハビリテーション

- ① 平均通所利用率 80%に対し、68.9%の実績であった。新規利用者も獲得し、利用日の振り替などを行い利用率の向上を目指したが、サービスの変更や、入院、体調不良による休み等が多く目標を割り込む結果となってしまった。
- ② サービス計画を軸に在宅生活が維持、継続出来るよう、利用者個々の状態にあったリハビリ、生活動作訓練の提供に努めた。担当者会議で状況報告を行い、本人、ご家族の意向も尊重しながらサービスの検討、提供にあたった。
- ③ ご家族及び関係機関との関係性を大切にしながら、迅速、確実、誠実な情報提供、連絡を心がけ事業所としての信頼が得られる様努めた。
- ④ 日常的に危機意識を保ち、職員間の連絡を密に業務を行い、大きな事故、感染症の蔓延もなく1年を経過することができた。

・居宅介護支援事業所

- ① 各地域包括支援センターと連絡を取り合い、要支援者の相談に対応してきた。
- ② 作成した計画を再度見直し、ご家族へ配布前に一連の流れができているか振り返るよう努めた。
- ③ 包括主催の会議や居宅関連の研修会に積極的に参加する事で、自分から情報を得るよう動いてきた。

事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 辞令交付 理事長訓示 // もりよし荘便り(かけはし)発行 9日 研修室LED工事 12日 開設記念日(28回目) // 春のクリーンアップ 18日 運営会議 23日 県老健協会通常総会(秋田市)	1日 理容の日 8日 美容の日 15日 理容の日 // 面会規制解除(1/15～) 19日 荘前桜開花～各ユニットお花見 22日 美容の日
5月	15日 理事長訪問 16日 運営会議 23日 自動ドア点検 29日 監事監査 // 職員健康診断(保健事業団) 30日 安全運転管理者講習	6日 理容の日 8日 米内沢祭典・神輿見学 11日 米内沢小運動会前日祭 よさこい披露 13日 美容の日 20日 理容の日 27日 美容の日 28日 比内支援学校たかのす校中学部交流会 29日 チャレンジデー(愛知県扶桑町)
6月	5日 暖冷切替 6日 消防設備点検 // もりの家第1回打ち合わせ(以降月1回開催) 10日 ワックスがけ～7/22日まで // 消防査察 17日 窓ガラス清掃(～18日) 19日 総合避難訓練 20日 運営会議	3日 理容の日 10日 ドライブ・外出開始(各ユニット) // リハビリ塗り絵大会開始 // 美容の日 17日 理容の日 24日 美容の日
7月	3日 業務用洗濯機・乾燥機保守点検 10日 参院選不在者投票(30名) 理事長視察 11日 もりの家第2回打ち合わせ 15日 浴室天窓工事 16日 職員玄関階段補修工事他 17日 運営会議 31日 浄化槽法定検査	1日 理容の日 8日 美容の日 15日 理容の日 17日 比内支援学校たかのす校中学部交流会4名 22日 美容の日 26日 夕涼み会 峠のシルバー5コンサート他 // 苦情解決相談コーナー
8月	9日 煤煙測定 // 厨房スポットエアコン更新 17日 灯油地下タンク点検 18日 浴室大掃除 20日 献血車来荘 22日 運営会議 26日 簡易専用水道検査(保健事業団)	12日 美容の日 13日 米内沢共勇会駒踊り 19日 理容の日 26日 美容の日 ※ お盆帰省利用者～外出10名、外泊14名
9月	8日 秋田県老健バレー大会(森吉スポセン 優勝) 11日 エレベーター点検 12日 理事長訪問 13日 貯水槽・通所FF暖房器清掃点検 19日 運営会議 27日 厨房食器洗浄機更新 29日 電気設備年次点検(停電)	2日 理容の日 5日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 9日 美容の日 10日 利用者結核検診(直接・間接) 16日 理容の日 20日 歌謡ショー(能代市 カラオケ大ちゃん) 22日 100キロマラソン 23日 美容の日

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより(かけはし)発行 〃 消費増税による介護報酬改定 8日 空調冷暖切替 〃 レジオネラ水質検査(一般浴 特浴 ポイラ- 9日 実地指導 13日 介護支援専門員資格試験日(1名) 17日 運営会議 18日 秋のクリーンアップ 24日 第9回地域福祉講座 28日 保健指導(6名)	7日 理容の日(理美容料金改定一律200円UP) 8日 新町老人クラブ婦人部慰問 10日 日赤森吉婦人部慰問 14日 美容の日 15日 比内支援学校中学部交流会 通所 〃 森吉地区更生保護婦人部慰問 21日 理容の日 〃 大型加湿器2台設置 22日 森中吹奏楽部演奏会 28日 美容の日
11月	5日 職員インフルエンザ予防接種開始 6日 職員全体会議 8日 夜勤従事者健康診断 12日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 15日 北秋田市福祉大会(永年勤続表彰対象1名 21日 運営会議	4日 理容の日 7日 結核健診精密検査5名 11日 美容の日 〃 インフルエンザ予防接種 18日 理容の日 25日 美容の日
12月	8日 浴室清掃 10日 消防設備点検 11日 パソコン21台更新 13日 互助会忘年会 19日 運営会議 27日 御用納め	2日 理容の日 9日 美容の日 13日 感染レベル1(面会規制) 16日 理容の日 23日 美容の日 24日 クリスマス会(各ユニット) 27日 餅つき大会 31日 大晦日 ※お正月外泊9名 外出2名
1月	6日 施設長年始訓示 16日 運営会議 22日 電気設備点検 26日 介護福祉士国家試験(1名受験) 28日 業務用大型洗濯機・乾燥機保守点検	2日 各ユニット新年会 13日 美容の日 20日 理容の日 27日 美容の日
2月	12日 煤煙測定 13日 業務用大型乾燥機修理 20日 運営会議 21日 評定者研修会(11名) 26日 安全運転管理者総会 28日 新型コロナウイルス対応入館規制開始	3日 節分 各ユニット豆まき 〃 理容の日 10日 美容の日 17日 理容の日 24日 美容の日
3月	2日 館内LED化工事 ~8日 11日 理事長訪問(予算査定) 〃 非常用照明設備法定点検 18日 運営会議 25日 法人新任職員研修 3名 26日 職員全体会議 31日 退職者辞令交付 〃 職員互助会送別セレモニー	2日 理容の日 3日 ひな祭り 各ユニット 9日 美容の日 23日 美容の日 面会規制継続中(入館者検温測定継続)

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
障害者支援施設 森幸園

【事業・運営】

1、総括

施設整備については、計画通り増改築工事を終えユニット毎の浴室整備、強度行動障害利用者の生活空間を活動の場、憩いの場、食堂に分けて整備することができた。

施設運営については、入所・生活介護において利用率の目標を達成することができたが、年度末入所2名の欠員が出ており新型コロナウイルス関係から、新規入所の目途が立たない状況にあるため、終息後早期に入所の受け入れが可能となるよう、事前の情報収集を図っていききたい。

利用者支援については、医療行為が必要となり退所となった利用者が2名おり、9月の家族懇談会において、医療行為が必要となった場合の対応について説明し理解を求めた。

体制的には、もりの郷の事業について「日中支援型共同生活援助」への転換、「共生型生活介護」「短期入所」の新規実施を決定し、年度内に事業の指定を受けた。

2、重点事項

(1)利用者に適した生活環境に提供

増改築工事の目的であった、行動障害を有する利用者への支援強化のため、具体的アセスメント及び支援計画作成し、専用の空間で構造化の取り組みを開始することができた。

また、新たな浴室には特殊浴槽を設置し、より安全な入浴体制を整えることができた。特殊浴槽に固定するストレッチャーについては次年度に補助金活用で導入し、一層の安全強化を図っていききたい。

(2)リスクマネジメントへの取り組み

安全対策部会が毎月の事故集計から、ユニット毎に多発する時間・場所等の注意喚起を行い再発防止を図った。さらに、リスクマネジメント委員会でマニュアルの検証、利用者の権利擁護、労務管理等、多方面に渡るリスクの洗い出しを行い、運営会議で検討し改善に繋がった。

今年度課題をして挙げられた事故分析、統一支援内容の周知徹底については、リスクマネージャーの指導のもと次年度重点的に取り組むこととした。

(3)日中活動の充実

重点事項に掲げていた、就労継続支援B型事業の工賃向上については事業の内容を増やし達成することができた。

生活介護については、作業所の老朽化や利用者の高齢化等により、生産活動事業の見直しが必要となっており令和3年度からの変更に向け、制度や報酬の動向も視野に入れ検討を行う。

(4)職員の資質の向上

職員個々の研修計画に基づき外部研修派遣、資格取得へのスクーリング派遣を行った。

研修受講後は園内研修会にて、発表を行い振り返りの機会に繋がっている。

資格取得については、精神保健福祉士を1名が取得している。

差別解消法、合理的配慮理解については、外部講師を招き研修会を開催した。

(5)地域や家族との連携強化

地域との交流会・行事参加、奉仕活動の機会を設け地域との交流を図った。また、地域との防災訓練では、発電機の操作、避難所の設置、備蓄食料を活用しての炊き出し訓練を実施し、消防団や地域自治会との連携強化に努めた。

家族との関わりについては、家族総会で結束を図ると共に、懇談会の開催、夕涼み会や面会サービスを実施し連携を図った。

(6)もりの郷一体運営に向けた取り組み

毎月会議を開催し課題の抽出、改善に向けて検討を重ね、事業の方向性を決定した。森幸園利用者の高齢化問題、もりの郷通所介護利用確保の課題解決に向け取り組んでいきたい。

利用者支援

増改築工事が年内に終わり、陽のあたる空間で日々快適な生活を送っています。浴室が増えたことで、時間に追われることなくゆっくり入浴が出来る。また従来使用していたディールームを強度行動障害者向けの活動スペースにして、個々の課題取り組み情緒安定に繋がるよう努めた。

入退所の状況では、退所者2名、入所者2名でした。入所前資料と健康状態が大きく異なり、入所4日後に誤嚥により救急搬送され、誤嚥性肺炎の入退院を繰り返し死亡退所しました。入所前の最新資料の収集と面接の重要性を再確認し、その後の入所者には詳細の情報提供を求め情報共有し支援に活かしている。

行事については、一泊旅行や日帰り旅行を利用者の希望に応じて小グループで実施し気分転換や職員との親睦が図られた。前田保育園・小学校運動会や思いやり自治会主催のクリスマス会は、北鷹高校生のボランティアと一緒に楽しい時間を過ごし、地域行事や交流も盛んに行われた。

感染症対策では、冬季一時帰宅後にインフルエンザを発症しましたが、ユニット間の往来や接触を避け個別外出や利用外出などを自粛し一部ユニットだけで終息しました。新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい、全国的にも外出自粛規制が敷かれている状況です。今後も感染症予防対策を徹底し、各ユニットで楽しめる行事を企画し、情緒の安定と気分転換を図っていききたい。

もりの郷との一体化運営に向け、年度末に3名の利用者の移動を行った。

(1)施設入所支援

高齢化に伴い支援量や時間が掛かる場面が多くなっている。荒い口調や上から目線などの不適切な行為が職員セルフチェックアンケートから繰り返し挙げられ、聞き取り調査やチェックシートを活用し、職員間で評価しながら不適切な支援にならないよう努めている。

(2)障害者福祉サービス(日中活動)

・生活介護

アルミ缶回収作業では、利用者が不安定となり車の座席から飛び降りる事故が発生しましたので、就労継続支援B型に回収作業を引き継ぎ、職員2人乗車させ安全に作業できるよう見直した。

生産活動では、ブルーベリーの収穫量が例年より少なく、一部注文を断らざるをえない状況でした。

・就労継続支援B型

比内地鶏・椎茸栽培・野菜栽培は、前年度並みの売り上げがあり、冬季期間に豆乳作り作業を加え、次年度の工賃アップに繋がるよう努めた。女子利用者間で些細なトラブルがあり、その都度話し合いの場を設け解決できるよう支援した。また、年配の利用者が多い事から体力や技量に合った作業を提供し、怪我のないようお互い助け合いながら作業に取り組みました。

事業概要

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	1日 辞令交付、理事長訓示 13日 家族会総会(東京・理事長、事務長、職員15名、もりの郷職員2名) 26日 やまね会後援会総会(後援会28名、職員7名)	7日 音楽クラブ 13日 生け花クラブ 27日 スポーツクラブ ※ユニットの避難訓練(1ユニット)
5月	28日 地域との防災会議(理事長・消防署長・消防分署長 前田駐在所・消防団分団長・自治会5名 後援会2名・職員8名) 29日 職員健康診断 30日 法人監事監査	5日 阿仁前田祭典 11日 生け花クラブ 12日 前田保育園小学校運動会(7名) 25日 音楽クラブ 29日 利用者健康診断 ※一泊旅行(3G) 日帰り旅行(3G) ※ユニットの避難訓練(2ユニット)
6月	1日 草刈りボラ(後援会14名、職員12名) 3日 労働災害基準監督署現場確認 3日 新入所者契約(江戸川区) 13日 比内支援学校実習生2名受入(~28日) 14日 第1回勉強会(出前講座)『差別解消法』(41名) 16日 前田駅前担ぎ手(3名) 26日 総合避難訓練	8日 生け花クラブ 8日 スポーツクラブ 12日 県北球技大会(17名・ニプロハチ公ドーム) 16日 前田駅前祭典 18日 前田保育園さつま芋苗植え交流(園児9名、先生3名、利用者18名) 22日 音楽クラブ 23日 東地区ボラ外出 26日 総合避難訓練 29日 あけぼの・あすなろ街合同BBQ(25名) ※一泊旅行(2G) 日帰り旅行(4G) ※ユニットの避難訓練(5ユニット)
7月	20日 草刈りボラ(後援会15名、職員17名) 27日 森の夕べ(後援会19名、役員12名 家族40名、ボラ15名、もりの郷職員6名 小学校26名、一般60名) 30日 土砂災害訓練(四季美館へ避難) 30日 まち美化(13名)	5日 スポーツクラブ 17日 県北レク大会(ニプロハチ公ドーム・22名) 27日 森の夕べ(利用者69名) 30日 土砂災害訓練 ※一泊旅行(3G) 日帰り旅行(4G) ※ユニットの避難訓練(1ユニット)
8月	5日 外部監査(北林会計事務所) 6・7日 第三者評価利用者聞き取り、場面調査(3名) 21日 夜間地震想定避難訓練 21日 まち美化奉仕活動(11名)	7日 たなばた火祭り(利用者6名) 8日 駅前バス停・火祭り会場清掃ボラ(14名) 11日 夏季一時帰宅(東京7名、県内3名) 11日 残園者旅行(本体) 12日 残園者旅行(東地区) 15日 北秋田市成人式(1名) 21日 夜間地震想定避難訓練 25日 東地区お話しボランティア ※日帰り旅行(3G) ※ユニットの避難訓練(1ユニット)
9月	10日 第三者評価訪問調査(3名) 11日 東社協地域コーディネート施設見学 17日 まち美化活動(14名) 20日 第2回勉強会『強度行動障害の理解と支援』(17名) 21日 草刈りボラ(後援会ほか14名、職員9名) 27日 無断外出捜索訓練	5日 地区敬老式(2名) 8日 音楽クラブ 14日 生け花クラブ 15日 神成地域祭典(6名) 18・19日 面会サービス(東京・3名) 19日 五味堀いきいきサロン交流会(6名) 30日 交通安全教室(68名) 交通キャンペーン(8名) ※一泊旅行(1G) 日帰り旅行(1G)

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	10日 比内支援学校実習生受け入れ～(25日) 19日 県内家族懇談会(6家族9名) 27日 東京家族懇談会(31家族41名) 25日 北秋田市赤い羽根共同募金(～11/5日) 30日 園内研修発表会(発表者4名・22名) 31日 BCP訓練(14名)	10日 前田保育園サツマ芋堀交流 (17名、園児13名、先生4名、比内支援 学校3名、職員5名) 21日 神成だまっこ交流会(8名、職員4名)
11月	8日 夜勤業務者健康診断 15日 第3回勉強会『感染症について』(23名) 17日 地域合同避難訓練・交流会 (法人本部1名・地域協力員15名 職員11名)	8日 健康診断 9日 スポーツ・生け花クラブ 10日 音楽クラブ 15日 合同昼食会 15日 自治会レク交流会(80名) 20日 地震想定避難訓練(53名:本体) 23日 東地区ボラ交流会(ボラ2名)
12月	3日 第三者評価受審最終結果報告 6日 外部講師研修会『介護技術・移乗動作』 (23名) 13日 インフルエンザ予防接種	5日 スポーツクラブ 13日 インフルエンザ予防接種 14日 生け花クラブ 18日 歳末助け合い募金(1名・秋田市) 21日 自治会 Xmas会(91名・ボラ3名) 29日 冬季一時帰宅(東京6名、県内2名) 29日 本体残園者旅行 30日 東地区残園者旅行
1月	19日 除雪ボラ(神成自治会6名、職員7名) 20日 新入所者契約(町田市) 24日 後援会新年会(後援会24名、職員7名) 31日 大規模修繕東京都完成検査 (東京都2名、設計・施工業者)	24日 増改築完成祝い昼食
2月	15日 除雪ボラ (後援会4名、神成自治会2名、職員12名) 19日 新入所者契約(清瀬市) 26日 第4回勉強会『リスクマネジメントについて』 (職員29名) 29日 救急救命講習会 (消防署員2名・職員11名)	2日 さわやか街節分レク 8日 生け花クラブ
3月	17日 園内研修会(発表者5名・職員22名)	1日 自治会総会(79名) 11日 アルミ缶回収地域還元(高校通り) 13日 スマイルフーズ慰労会 14日 生け花クラブ 22日 東地区慰労会 25日 スポーツクラブ 31日 利用者引っ越し(森幸園2名⇔郷1名) ※各ユニットで避難訓練実施(1ユニット)

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
特別養護老人ホーム 森泉荘

総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者のサービスの向上に努めてまいりました。日々変化する利用者の対応は個別のケアに対応するため、職員個々の実践技術の向上とチームワークの取れた介護が求められております。このことから、毎日の生活が活気あるものとするため、余暇活動を積極的に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めている。

施設運営関係では、介護職員等特定処遇加算が10月から算定となり、職員の待遇改善につながっている。また冬期間のインフルエンザやノロウイルス等の発生はなかったが、2月からの新型コロナウイルス対策として、「持ち込まない・持ち込ませない」を朝の会で毎日確認した。具体的な対策は2月の運営会議で確認し、全職員が対応を徹底して行っている。今年度は入所目標率以上になったが、コスト意識の徹底など、創意工夫の上適正な運営管理に努めている。

施設事業関係では、恒例行事として敬老式を9月に開催、たくさんの来賓をお迎えし盛会理に終えることができた。また、森吉山麓たなばた火まつりの見学、阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会、新年会に根森田七福神の皆様のお踊りなど地区の一員として地元地域事業に協力している。

地域交流推進事業として「観桜会・環境整備事業・もちつき会」の3事業を実施しました。観桜会は、地元下前田自治会の参加により、利用者との交流を深めている。もちつき会は理事長のもちつきがあり大変盛大に終えることができた。

また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」では感染症予防について情報を提供した。

(利用者の実績)

(入所率%)

	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	98.6	96.8
短期利用者	100.0	97.9
全体	98.9	97.0

重点目標

1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者支援（介護）を大切にするため「いつも笑顔で元気よく」をモットーに職員と職員、そして職員と利用者間に信頼意識が生まれる環境づくり、職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めた。

2. 実践を主体とした介護

利用者の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、個別ケア実践のため外部研修への参加や施設内研修の開催など、職員の資質及び介護技術の向上に努めた。

また、利用者のニーズに沿った余暇活動を実施し、心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めた。

3. 衛生管理の徹底

利用者が快適に生活できるための環境づくりを行い、おだやかに落ち着いて毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めた。

4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者には、適切な対応を心がけた。

感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように予防の徹底に努めた。その他の対応としては利用者一人ひとりの身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者の尊厳を尊重し、寄り添い思いやる看護に努めた。

5. 栄養管理と食環境の保全

食事は利用者の重要な楽しみのひとつです。常に食材等の栄養・品質管理に努め、個々の嚥下状態に応じた食事の提供、選択食や行事食も随時取り入れるなど、食事に対する意欲を引き出すよう努めました。また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めた。

6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力が得られるよう訓練参加を依頼し訓練を行った。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めた。非常時に速やかに対応できるよう下前田自治会と災害協定を結び体制を整えるとともに、水害対策として各職員がリフトカー操作をスムーズにできるよう学習会を行った。

7. ご家族・地域とともにある施設

利用者と家族、そして地域住民との繋がりを大切にし、親しまれる施設となるように、地域交流推進事業の開催や福祉ボランティア・介護実習生の受け入れ等を積極的に取り組んだ。

事業報告

	管理運営関係	利用者関係
4	1日 開設記念日(37回目)、理事長訓示 11日 運営会議・サービス改善向上委員会 23日 職員会議・支援課会議	9日 理容の日 15日 風船バレー 25日 観桜会 28日 カンファレンス
5	1日 森泉荘だより第62号発行 9日 運営会議 10日 職員健康診断	13日 理容の日 20日 風船バレー 26日 カンファレンス 29日 チャレンジデー
6	6日 運営会議 11日 消防立ち入り検査 30日 地域交流(下前田自治会道払い作業) 27日 職員会議・支援課会議	5日 春祈祷(健康祈願祭) 10日 理容の日 20日 前期避難訓練(総合)(下前田自治会参加) 23日 カンファレンス
7	4日 運営会議・サービス改善向上委員会 8日 ナースコール工事開始 16日 前期入所調整委員会(外部委員2名) 17日 不在者投票(参議院議員) 18日 ボイラーストレージタンク清掃整備～19 // 地下重油圧力タンク清掃検査～19 22日 施設見学(東恵園) 25日 職員会議・支援課会議	1日 フラワーアレンジメント 8日 理容の日 28日 カンファレンス 29日 スイカ割
8	6日 外部監査(北林会計事務所) // 給食施設の巡回指導(北秋田保健所) 8日 運営会議 19日 秋田看護福祉大実習受入1名～9/10 29日 職員会議・支援課会議 29日 施設内ワックスがけ～30	1日 結核検診 // 三浦ヨネ様100歳長寿のお祝い 5日 理容の日 7日 森吉山麓七夕火まつり見学 15日 阿仁前田獅子踊り見学 22日 お盆供養 25日 カンファレンス (お盆 外泊～3名、外出～3名)
9	3日 献血車来荘 5日 運営会議 26日 職員会議・支援課会議 30日 施設内研修「虐待防止」	9日 理容の日 13日 敬老式 20日 100歳長寿内閣総理大臣感謝状贈呈式(3名) 22日 カンファレンス

	管理運営関係	利用者関係
10	3日 運営会議・サービス改善向上委員会 15日 窓ガラス清掃～16日 20日 貯水槽清掃 21日 職員会議・支援課会議 23日・24日 特定保健指導 25日 施設内研修「感染症予防」 31日 施設内研修「おむつの正しい当て方」(外部講師)	4日 誕生会 8日・24日 利用者心電図①② 14日 理容の日 17日 後期避難訓練(下前田地域住民参加) 23日 水月聖観音供養、御詠歌 24日 だまっこ会(七曲婦人部参加) 27日 カンファレンス
11	1日 森泉荘だより第63号発行 6日・13日 職員インフルエンザ予防接種①② 7日 運営会議 14日 施設内研修「腰痛予防」(外部講師) 20日 職員会議・支援課会議 21日 夜勤者健康診断	1日 感染症対策強化開始 11日 理容の日 15日 インフルエンザ予防接種 24日 カンファレンス 28日 ゲーム大会 29日 介護教室「感染症予防」(コスモス会)
12	4日 運営会議 11日 消防設備点検 20日 職員会議、支援課会議	2日 本田八也様 100歳長寿のお祝い 9日 理容の日 22日 カンファレンス 27日 地域交流餅つき会
1	8日 運営会議・サービス改善向上委員会 22日 職員会議、支援課会議 ※1/18 面会等完全制限開始(感染症対策)	8日 新年会&宝引大会(根森田七福神) // 柴田チエ様 100歳長寿のお祝い 13日 理容の日 26日 カンファレンス
2	5日 運営会議 19日 秋田看護福祉大実習受入1名～3/20 26日 職員会議、支援課会議 27日 後期入所調整委員会(外部委員2名)	10日 理容の日 23日 カンファレンス
3	4日 運営会議 25日 職員会議・支援課会議	9日 理容の日 18日 喫茶いずみ 22日 カンファレンス

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
複合ケアセンター もりの郷

○総 括

各事業所とも、目標利用率に向けて努力してきたが、一部を除き目標を達成する事が出来なかったのが現状である。また職員不足においては随時、各事業所の協力や補充により職場環境の悪化を防ぐ事が出来た。地域交流に関しては、各事業所共、地域行事参加され交流がはかられた。もりの家では、地域運営推進会議を施設内で出来るよう工夫し、委員の方々に施設内の様子を実感出来るようにした。また、地域福祉講座の開催などを依頼されるようになり、今後もグループホームが地域の一員である事を認識して貰いながら、活動を展開していきたい。

1. グループホーム共用型通所介護への取り組み

今年度も入居者の確保や職員の欠員等も重なり共生型を開始できる現状ではなかったため実施に至っていない。共生型通所を検討するには、施設内の環境や、共用スペースの問題など課題がまだある。

2. サポートホーム並びにグループホームの方向性と在り方

サポートホームに於いては、定員確保に伴い、各関係機関を始め福祉事務所などと連絡を取りながら、現在 24 名の方が在籍している。また利用者が潤いのある生活が実現出来るようグループ外出や個別外出の他、地域の催し物に参加してきた。

グループホームに於いては、利用者の自立性を高めるため、「出来る事」に焦点を当て、積極的に家事、軽作業等を行う場面を作り、残存機能を生かせるように支援した。

12 月以降感染症拡大防止策や新型コロナウイルスの影響もあり、予定していた外出支援や地域との交流など行う事ができなかったのが残念であった。

3. サービス計画並びに個別支援計画書作成への取り組み

サポートホームにおいては、サービス等利用計画書を基に随時担当者会議に出席し、総合的な援助、具体的課題を整理し、利用者の現状から個々の生活スタイルを思い浮かべて、個人に合った個別支援計画書の作成に努めた。

グループホームに於いては、3ヶ月毎の評価、6ヶ月毎の計画の見直しを実施している。サービス担当者会議への家族の出席を重点事項に掲げていたが調整がつかず、出席には至っていない。

4. 災害時における避難誘導の確立

概ね各事業所において、計画されていた各訓練を実行することが出来た。また安全かつ迅速に遂行出来るよう、実施の反省や不具合等を検討しながら、随時訓練の見直しなどを図ってきた。今年度は「洪水時避難計画書」を作成し、市に提出できた。

5. 快適な職場環境づくり

職員不足に陥った事業所はあったが、人員の補充や他事業所からの協力を得ながら、職場環境の悪化を防ぐ事が出来た。その反面新規職員の指導に於いて、業務内容や支援方法に終始してしまい、介護・支援の基本的な知識の習得が疎かになっていたように思われる。今後は指導職員の向上を図ると共に、福祉事業所が初めてである職員に対しての施設内研修の在り方を検討していく必要があると思われる。

6. リスクマネジメントへの取り組み

KYT（危険予知訓練）については、職員や世話人ともに、2ヶ月に1回程度実施し、危険に対する感性が少しでも向上するように取り組んできた。今後は根本原因の分析を講じながら、違う視点で事故やヒヤリ・ハットの要因を分析し合い、職員一人ひとりが危機意識や危険回避能力が身に付くように努めたい。

7. 人材育成並びに資格取得への取り組み

自身のスキルアップのため、施設内研修や外部派遣研修へ参加し、情報収集や技術の習得が出来るよう育成の場を提供している。また資格を取得し易い職場環境作りに努めたい。

8. メンタルヘルスへの取り組み

人間関係や職場環境が原因で退職された方がいたが、メンタル不調がもとで長期休暇する職員はいなかった。引き続きメンタル不調の早期発見及び改善していくと共に、個々の仕事量が過密にならないよう業務状況の管理に努めていきたい。

○利用実績 (%)

事業所名	令和元年度計画	令和元年度実績	前年度実績
サポートホーム 郷	95.0%	93.5%	81.5%
GHもりの家(さくら)	98.0%	94.6%	96.1%
もりの家(コスモス)	98.0%	98.3%	89.4%
デイサービス 郷	70.0%	67.1%	66.7%

○各事業所活動報告

1. サポートホーム

(1) もりの郷

今年度末に利用者1名が退居し、現在24名の在籍となっている。また利用者状況としては、ADL(日常の生活動作)の低下並びに支援(介護)の頻度、利用者、家族の意向、対人関係などを考慮して、これからの生活環境を見据えて、各生活の場の移行を行ってきた。また、基礎疾患による生活のリスクが高まっているため、日常生活動作を今一度見直しながら、これからの支援内容や介護方法について具体的な対策を講じ、個々の生活に合った「安心」「安全」「快適」な生活環境を整備していきたい。

(2) であいの家、陣場岱ハイツ

であいの家では、役割分担表をもとに一人ひとりが活躍出来るよう、家事全般に取り組んできた。また地域交流においては、地域行事に参加し地域住民と和気あいあいと過ごすことが出来た。陣場岱ハイツでは対人関係に配慮しながら、穏やかに生活出来るよう利用者同士のトラブルの軽減に努めた。また地域交流においては、地域住民の一員として、地域行事に積極的に参加し交流をはかった。

2. グループホームもりの家(さくら館)

利用者の加齢に伴い日常の生活動作や認知機能面の低下、発熱による転倒での骨折や急変による入院者の増加や介護の重度化に伴いグループホームでの生活が困難となり、特養への入所、長期入院による退居等が重なり入居者の確保に苦勞し、利用者の体調管理における難しさを感じている。今後、新入居者も含め精神面の安定を図り、身の周りの出来る事を取り入れた家事作業や行事、体操や創作活動などの充実を図りながら、楽しみや活気のある生活が送れるよう努めていく。

3. グループホームもりの家(コスモス館)

9月以降、人員不足に陥った。また、新規入居者が多く、支援や介護方法に苦慮してしまっただ。10月・11月と職員の補充する事ができた。また、他事業所からの応援を得ながら進めた。ただ、新規職員いずれもグループホームは初めてであり、業務に慣れるのに苦慮していた。その為他職員の夜勤回数が増加してしまい、苦しい状況が見られたが、入居率は目標を達成することができた。

4. デイサービス

今年度の利用率は予防も含めて67.1%であり、今年度目標の70.0%には及ばなかった。要因として利用者の機能低下による契約解除や感染予防のための利用中止などにより、低下を招いた。活動内容に不足を感じていた利用者もおり、内容の見直しが必要であったと反省している。今後は、共生型生活介護の制度と特性を理解し、活発な地域交流を計画しながら、高齢者、障害者共に安心、安全に利用できるようにサービスを提供していく。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	13日 SH郷家族会総会(4家族・5人参加) 15日 第1回知的障害者施設長連絡会 19日 県知的障害者福祉協会総会 26日 SH郷・ハイツ・消防査察 毎月運営会議、各事業所職員会議 各委員会等	12日 GH家利用者歯科検診 13日 DS手作りおやつ会 15日 DSキルト教室 17日 SHハイツ個別外出 21日 SH郷列車利用外出 22日 DS観桜ドライブ(～適時) 30日 GHコスモス館観桜会 SHハイツ合同外出
5月	4日 SH非常時炊き出し訓練 9日 GH家非常時炊き出し訓練 15日 GH家夜間想定避難訓練 22日 GH家地域運営推進会議 23日 事務担当者会議 19日 職員健康診断・チャレンジデー	7日 SH個別外出(大館方面) 8.12日 GH観桜昼食会 16日 DS利用者外食支援(上小阿仁) SH利用者1泊旅行(山形方面) 29日 SH利用者健康診断
6月	4日 地域福祉講座「介護技術Ⅲ」 米内沢駅前自治会館(女性の会 11名) 6日 一体化会議(もりよし荘) 9日 新屋布祭典(SHであいの家) 14日 差別解消法講座(森幸園) 16日 前田駅前祭典	8日 SH生け花教室 12日 県北球技大会(SH郷 3名) 13日 GHさくら館ピクニック(北欧の杜) 20日 GHさくら館バラ園見学(国花苑)
7月	2日 県北レクレーション打ち合わせ 3日 認知症介護基礎研修 4日 SHサービス管理責任者会議 5日 SH無届外出捜索訓練 8日 知的障害者福祉協会第2回部会協議会 9日 郷一体化会議(森幸園) 10日 理事長訪問 16.17日 福祉保健施設事業者等職員新任研修 16日 県北レクレーション前準備 22日 GH家無届外出捜索訓練 24日 GH家地域運営推進会議(さくら館) 30日 墨田区障害福祉課職員訪問	3日 SH郷誕生者外出 7日 各事業所七夕夕食会 8日 GHさくら館ワックス外出(男鹿方面) 11日 GHコスモス館ワックス外出(男鹿方面) 13日 SHであいの家グループ外出 17日 SH県北レクレーション大会(大館) 20日 SHデイキャンプ(北欧の杜) 22日 DS田んぼアート見学(内陸線利用) 24日 GHさくら館季節ドライブ
8月	7日 郷ふれあいフェス 11日 SH夏季一時帰宅(～17日) 14.23日 GH家、SH郷水害想定避難訓練 22.28日 一体化会議(森幸園・もりよし荘) 27日 知的障害者福祉協会事業所視察研修(愛仙の華) 30日 DS縄文館見学	2日 DSキルト教室 6日 GH家利用者結核検診 9日 SH郷誕生者外出(大館) 11日 残郷者日帰り旅行(能代) 19日 GHコスモス館田んぼアート見学(田舎館)
9月	5日 森吉地区敬老会(SH 2名) 8日 米内沢駅前祭典 10日 GH家市実地指導 介護支援専門員専門研修 11日 GH家地域運営推進会議 13.27日 一体化会議(森幸園・もりよし荘) 15日 神成祭典(陣場代ハイツ) 19日 DSサービス公表 26.27日 東北地区知的障害者福祉協会専門研修 27日 DS地域運営推進会議	3日 SHハイツ誕生日外出(大館方面) 7日 SH誕生日外出 11日 SHであいの家個別外出(鷹巣方面) 14日 SH生け花教室 19日 GHコスモス館田園アート見学(田舎館村) 21日 SH陣場代ハイツグループ外出 23日 GHさくら館敬老を祝う会 28日 SHであいの家グループ外出 29日 SH郷誕生日外出

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	10日 環境災害委員会 11日 一体化会議(森幸園) 15日 第三回施設内研修(差別解消法) 17日 DS郷避難訓練 19日 SH家族懇談会(県内) 21日 地域福祉講座:「いきいき体操」(米内 沢駅前自治会館)参加 11名 23日 郷・家保健指導(5名) 27日 SH家族懇談会(東京 2名) 29日 感染症研修(もりよし荘)	1日 SH郷誕生者外出(鷹巣方面) 3日 SH郷誕生者外出(縄文の湯) 8日 SH郷誕生日外出(北欧の杜) DS郷買い物外出 9日 SH郷個別外出(大館方面) 10日 DS郷キルト教室 12日 SH生け花教室(森幸園) 13日 SH列車利用外出 14日 DS紅葉ドライブ開始(~18日) 18日 DS郷だまっこ昼食会 21日 GH家老人クラブ交流会
11月	2日 指定障害者福祉サービス事業者 愛心苑訪問(家族会・職員等10名) 3日 GH家家族会・苦情解決コーナー設置 7日 防火管理講習(~8日 大館2名) 8日 SH郷利用者、郷職員健康診断 11日 一体化会議(森幸園) 20日 GH地域運営推進会議 21日 DS前田小学校職場体験学習(3名)	6日 GHさくら館開設記念食事会 9日 DSお楽しみ昼食会 27日 SHであいの家個別外出(潟上市方面)
12月	4日 GH家外部評価 6日 もりの郷職員全体会議 13日 SH利用者予防接種 一体化会議(森幸園) 16日 社会福祉法人会計決算実務者研修会 17日 第4回施設内研修「強度行動障害とは」 29日 SH一時帰宅・残郷者日帰り外出	2日 SH郷個別外出(鷹巣方面) 3日 SH郷個別外出(能代方面) 11日 SH個別外出(大館方面) 14日 SH生け花教室 20日 DSクリスマス会(~25日) 21日 思いやり自治会クリスマス会 (森幸園 SH利用者参加) 24・25日 各事業所クリスマス会 27・28日 各事業所餅つき会
1月	5日 SH一時帰宅帰郷 15日 一体化会議(森幸園) 21日 要配慮者利用施設避難確保計画作成講習会 22日 GH家地域運営推進会議 27日 障害福祉関係団体合同研修 28日 令和元年度障害福祉関係合同研修	6日 DS郷宝引き大会(~10日) 9・10日 DS、GH新年を祝い会 30日 GH家非常時炊き出し訓練
2月	17日 第5回施設内研修(地域福祉講座:認知症 予防 前田駅前自治会館) 26日 GH地域運営推進会議	2日 SHハイツ利用者歳祝い(四季美館) 3日 各事業所節分 12日 SH郷炊き出し訓練
3月	1日 SH郷おもいやり自治会(森幸園)	3日 各事業所雛祭行事 13日 スマイルフーズ慰労会 GH家誕生会